

卒業認定・学位授与の方針(DP)	(1)【人物教育】社会人に求められる責任感と倫理観を意識し、自己管理能力と協調性を有しています。	(1) (2) (3) (5)	(1) (2) (5)	(3)	(4)	(4)【専門・知識】化学、物理学ならびに地学の基礎知識を修得し、環境・エネルギー工学に関連した専門知識を有しています。	(4) (6)	(5) (6)	(4) (5) (6)	
	(2)【人物教育】天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。									(5)【専門・コミュニケーション能力】自己の考えを論理的にまとめ、筋道立てて整理し、相手にわかりやすく伝えるコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を有しています。
	(3)【広い教養】人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。									(6)【集大成・課題解決】自立的かつ論理的な思考に基づいて問題を発見し、情報の整理・分析を行い問題を解決する能力を有しています。
対応する卒業認定・学位授与の方針(DP)の番号										
到達目標	Z 人文科学、自然科学、社会科学、国際言語文化学などに基づく大局的な視野と倫理的な視点から、環境・エネルギー工学と社会の関わりを考察することができ、自己の健康増進に関する技能を有し、グローバル社会において多様な人々と意思疎通を図ることができる。	A 環境・エネルギー工学の基礎及び専門知識を必要とする協同作業において、他者の意見を理解し自己の役割を果たしながら、相互にコミュニケーションを取って目標を実現することができる。	B 自然科学に関する幅広い教養と基礎学力を修得するとともに、その原理から基本的な物理・化学現象を考察することができる。		C 化学、物理学ならびに情報科学に関する知識を修得し、環境・エネルギー工学へと適切に応用することができる。	D 環境・エネルギー工学の核をなす環境科学、材料科学ならびにエネルギー科学に関する専門知識を修得し、それらを問題の状況に応じて適切に使うことができる。	E 化学、物理学ならびに環境・エネルギー工学に関する実験を行い、各分野の知識をもとに実験結果を解析することができる。	F 環境・エネルギー工学に関する専門知識を修得するために、化学、物理学ならびに環境・エネルギー工学に関する実験を長期間にわたって行い、各分野の知識や議論をもとに実験結果を理論的に解析することができる。		
科目群	全学共通科目・技術基礎科目	協働・実践科目	自然科学基礎科目		環境・エネルギー工学基礎科目	環境・エネルギー工学専門科目	環境・エネルギー工学実験科目	環境・エネルギー工学発展実験科目		
4年後期										
4年前期	▽知的財産権 ○工学英語	○環境・エネルギー工学卒業研究				▽電子材料工学 ▽エネルギー材料工学 ▽光材料工学				
3年後期						▽電気材料工学 ▽エネルギー材料工学 ▽光材料工学				
3年前期	○研究における安全と倫理				○合成有機化学 ▽量子論 ○無機化学B ○有機化学B ○物理化学B ▽電気化学 ○電気化学II ○高分子合成化学 ○量子化学 ▽反応速度論 ○電気化学I ○工学のためのIT	▽電子材料工学 ▽エネルギー材料工学 ▽光材料工学	○環境・エネルギー工学実験2 ○環境・エネルギー工学実験3	○環境・エネルギー工学卒業研究 ○環境・エネルギー工学卒業研究		
2年後期	○基礎共通科目(人文・自然・社会)※1									
2年前期	○基礎共通科目(人文・自然・社会)※1	○環境・エネルギー工学キャリアデザイン								
1年後期	○基礎共通科目(人文・自然・社会)※1 ○基礎共通科目(専門共通/学際融合系)※2 ○スポーツ健康マネジメント(卒業1) ○College English Reading/Writing ○College English Listening/Speaking ○基礎第2外国語I(英語)(Content/Project-based)・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語 ○基礎第2外国語II(英語)(Content/Project-based)・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語									
1年前期	○基礎共通科目(人文・自然・社会)※1 ○基礎共通科目(専門共通/学際融合系)※2 ○スポーツ健康マネジメント(卒業1) ○College English Reading/Writing ○College English Listening/Speaking ○基礎第2外国語I(英語)(Content/Project-based)・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語 ○基礎第2外国語II(英語)(Content/Project-based)・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・日本語	○環境・エネルギー工学入門								

- 基礎共通科目は、合計16単位を修得しなければならない。
 - 人文科学系、社会科学系、自然科学系の授業科目の中から、それぞれ4単位(※1)
 - 導入共通科目「甲南大学と平生夙三郎」「共通基礎演習」「AI・データサイエンス入門」の中から2単位、学際融合系・国際言語文化系・スポーツ健康系の授業科目の中から2単位(※2)
 - 中級英語、「大学日本語中級Ⅰ・Ⅱ」、「大学日本語上級Ⅰ・Ⅱ」、「エリアスタディーズⅠ～Ⅲ」、および「English RegionsⅢ・Ⅳ」については10単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
 - キャリア創生共通科目のうち、「実践ボランティアⅠ・Ⅱ」および「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」については4単位を上限とし、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
 - キャリア創生共通科目のうち、「データサイエンス基礎」については、専門教育科目として卒業必要単位数に充てることができる。ただし、必修または選択必修のいずれの単位数にも充てることができない。
- 注) 上記2~4の科目は、カリキュラムツリーに表示していない。